

⑧中村代官屋敷跡

枚岡中央公園は徳川家康の本陣となった中村四郎右衛門正教の屋敷跡です。正教は慶長19年(1614)大坂冬の陣では徳川秀忠に、翌年夏の陣では徳川家康本陣として屋敷を提供、大坂への道案内もした。

正教は河内木綿を「菖蒲木綿」として家康に献上したところ勝布に通じるとして喜ばれ、感謝状と刀、盃等を拝領の品として、中村家に伝わっています。

⑨権現塚・恩蹕遺址碑記

恩蹕遺址碑記は高さ1.8m、幅0.7mの花崗岩の石碑です。碑文は天保12年(1841)中村四端が、大学頭林に碑文を書いてもらい、中村代官屋敷に建てたことがわかっています。現在の碑は、昭和7年前枚岡村長であった大江幾太郎が原文によって再建したものです。中村家の先祖が大坂夏の陣の際、菖蒲木綿(勝之布)を献上し、家康から多くの拝領品を頂き、現在に至っていることが刻まれています。権現塚と刻した自然石の碑の権現とは家康のことで、感謝と供養の意味で建てられたものでしょう。

⑩枚岡神社の一の鳥居

鳥居町には、東高野街道から枚岡神社の参道口があり、地名の由来となった大きな一の鳥居がたっています。この石鳥居は享和年間(1801~3)、石工善根寺村彦兵衛によって建てられたもの、右脇の石灯籠には貞享2年(1685)の銘があります。10月14日・15日の秋祭りには、九地区の氏子が太鼓台をかついでここに集合し、神社へ宮入ります。

⑪道しるべ

ここは東高野街道と暗越奈良街道の交差点で宝蔵新家四ツ辻と呼ばれています。道しるべは、太師堂の

横に建っており、南側には上に半肉彫りの菩薩立像を配し、下に「是ヨリ北江すぐ 柳谷観音菩薩道 京八者多 淀ふしミ」とあり、西面に奈良・伊勢道、北面に高野・大峯道、東面に大坂・金比羅道を示す文字がそれぞれ刻まれています。

⑫額田墓地

行基が作った河内七墓の1つといわれていますが詳細はわかりません。大正時代には8月の盆頃、長瀬、岩田、額田、神立、垣内、恩地、晒の七墓を巡拝して焼場の穴をまたぐか、仏様を拜んでくると、下の世話をうけなくて極楽往生できるといわれていました。天保15年(1844)額田村明細帳に「墓所9畝5歩、境内火屋(火葬場。やきは。荼毘所)桁行4間、梁行2間」と記され、広さと建物の規模がわかります。

⑬額田寺

額田の豪族高内重行が応永2年(1359)に先祖の旧記を記した『ぬかた縁起』に、額田寺は弘仁年中(810~824)に弘法大師高野山を開き京より南山(高野山の異称。比叡山を北嶺と呼ぶのに対していう。)に至り、平城より難波へ越たまう路地の止宿のために額田首高内皆人の皇子の社のかたわらに一寺をいとなむ」とある。皆人は大師に帰依し、大師もまた自ら薬師の像を刻んでここに安置したといわれる。

⑭鎮宅霊符神社

字日向と呼ばれた所に鎮座しています。鎮宅神の祭祀は、火災予防の咒法を行ない、その咒符をおすもので、いつごろから祀られ始めたのかは不明です。鎮宅霊符神は最も尊厳な北斗七星の中で北辰=北極星を神格化した妙見信仰で、この社では像高39cmの木像妙見像(室町時代末期)を祀っています。中国では、漢代から

妙見信仰があり、陰陽道と称されて、わが国ではすでに平安時代から行われ、土御門家が陰陽博士を世襲し諸国の陰陽家を支配しました。額田と土御門家との関係は室町時代頃に密接となり鎮宅神が勧請されたようで、以降額田歴代組によって奉斎されてきました。

⑮額田戎神社

エビスさん(事代主命)を祭神としています。山口某が靈感によって西宮のエビス神を勧請してきたといわれ、天保15年(1844)の村明細帳の「夷大明神」はこれと考えられます。境内には鳥居、手水鉢、灯籠、狛犬などの石造物があり、入口にある高さ2.47mの鳥居は花崗岩製で、柱には「文政元戊寅年(1818)六月立 願主當村茂兵衛」と刻まれています。本殿奥には3体の地蔵尊が安置されています。

⑯玄清寺

浄土宗の寺です。開基は慶長2年(1597)額田村の高内正定が聖誉上人を招じて開いたと言われていいます。正定は織田信長に従い大坂石山本願寺との戦いに参加しましたが、その戦没者の霊を弔うためにこの寺を建立し、正定は浄翁玄清居士と号したので、清翁山玄清寺と名付け、高内氏の菩提寺としました。正定は天正11年(1583)前関白近衛前久公の枚岡神社参拝に際し、案内役をつとめました。南無仏太子像は、像高は、総高69cm、檜材、寄木造、室町時代の作で彫法もすぐれており、市の指定文化財となっています。

⑰妙徳寺

龍王山と号する。禅宗系の黄檗宗(黄檗宗とは、禅と浄土教を融合させた禅淨一致の宗派です。)もとは大阪福島区にありましたが、昭和2年~4年(1927~1929)にこの地に移転

してきました。天和2年(1682)南源和尚の開山で5世天真和尚の時五百羅漢を安置したので俗に羅漢寺といわれました。本尊は阿弥陀如来坐像です。墓地には貝原信進(貝原益軒の8代孫)や寺田屋騒動で知られる薩摩藩永田佐一郎の墓あります。

⑱旧額田村四つ辻の地蔵

〈南の辻地蔵〉

全高80cmで蓮華座の上に立ち、舟形光背を背に地蔵菩薩像を半肉彫りしています。像脇に「享保廿年(1735)」「卯七月廿四日」とあり、光背側面に「南町 施主九左衛門」と刻まれています。お堂前には「愛宕山権現守護所」と刻まれた正徳五年(1715)の燈籠があります。

〈上之辻地蔵〉

全高82cmの丸彫りの地蔵をはじめ、他に半肉彫りの地蔵尊など4体の石仏が安置されています。

〈正之辻地蔵〉

高さ60cm、肩幅30cmの丸彫りの地蔵で円形の蓮華座の上に立っています。

〈乾之辻地蔵〉

堂内中央に球状をした基礎の蓮華座上に立つ丸彫りの地蔵尊があり、両脇に破損、摩耗した石仏2体が置かれています。

⑲上行院

本因山と号する日蓮宗の寺院です。江戸時代の京都東山岸楽院の末寺でしたが、万治2年(1659)に日興上

人を開山として、西山本門寺の末寺となりました。本尊は板御本尊といって、漆塗の板に金泥で刻んだ法華曼荼羅で、裏面には、寛文4年(1664)9月に、大願主、後水尾上皇の第二皇女品宮常子内親王(のちの近衛基熙室)が時の中務卿を施主勸化主として寄進されたものです。

⑳たいしばし

長尾谷から流下る幅2m程の谷川に小さな石橋が架かっています。長さ2.28m、幅60cmの板材だけを架け渡したもので、表面には文久4年(1864)6月に額田村の米屋礪右工門が世話人で架けたことを刻んでいます。

～東大阪まち歩きのご案内～

東大阪市内には石切劔箭神社や枚岡神社などの神社仏閣だけでなく、司馬遼太郎記念館や田辺聖子文学館などの文化施設、また市内の駅には賑わう商店街など多くの資源が存在します。地図を片手にご自身のペースで歩いて歴史や町並みをじっくり楽しんでみてはいかがでしょうか。

まち歩きコース	
日下・石切周辺 文学散歩	近鉄石切～新石切駅周辺
帝キネが愛した東大阪	近鉄永和～河内小阪～八戸ノ里駅周辺
生駒西麓 里山コース	近鉄枚岡～石切駅周辺
ラグビーのまち東大阪	近鉄東花園～河内花園駅周辺
枚岡～額田周辺散策 枚岡神社秋祭り太鼓台で楽しむ	近鉄枚岡～額田駅周辺
瓢箪山周辺 いにしえの息吹を感じる	近鉄瓢箪山駅周辺
今米の屋敷林と鎮守の森を訪ねる	近鉄吉田～荒本駅周辺
若江岩田周辺 天下分け目の地をゆく	近鉄若江岩田駅周辺
西堤～御厨 古代からの歴史の移りかわりを見る	JR高井田中央～近鉄八戸ノ里駅周辺
JAZZのまち鴻池散歩 鴻池新田会所周辺	JR鴻池新田駅周辺
えべっさんの街 布施商店街周辺	近鉄布施駅周辺

東大阪まちガイドボランティアの派遣

条件:利用は10名以上の団体、1回につき2～3時間程度
費用:10～14名の場合はお一人あたり200円(資料代)、15名以上の場合は団体で3000円
※入館料・保険料は含まれません。
※まち歩きガイドは限られた人数で対応いたしますので、ご希望に添えない場合があります。

東大阪まちガイドボランティア“ちょこボラ”募集!

東大阪のまちに関心のあるちょこっとボランティアをしたいと思っておられる方、どなたでもご参加できます。随時募集しておりますので、お気軽にご相談ください。

2020年3月現在

お問合せ先

東大阪観光協会

〒577-8521 東大阪市荒本北1丁目1番1号
Tel : 06-4309-3230 Fax : 06-4309-3846

